

## ■必修領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

全ての受講者が受講する領域

No.	講習の名称	講習の概要	担当講師 (平成30年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
1	【必修】 教育の最新事情	この講習では、発達心理学、教育学そして教育心理学を学ぶことにより、人間の生涯発達全般を見通しつつ、データ等も用いながら小学校から中学校の子どもの発達と教育について考察します。「荒れ」や「いじめ」、「不登校」などを克服し、新学習指導要領でも強調されている主体的・対話的で深い学びはこうしたら可能になるかを検討していきます。	川島 一夫(教育学部 教授) 今泉 博(教育学部 教授)	6時間	2019年7月27日(土)	全教諭	特定しない	6,000円	100人	
2	【必修】 教育の最新事情	最新の教育事情を大きく(1)子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容(特別支援教育に関するものを含む。)、(2)子どもの生活の変化を踏まえた課題、多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割、カウンセリングマインドの必要性(3)学習指導要領の改訂の動向等(4)学校を巡る近年の状況の変化についてに分け、2項目で3時間、計6時間の講座となります。本講習はディベートを行います。	守 一雄(教育学部 教授) 武者 一弘(教育学部 教授)	6時間	2019年8月6日(火)	全教諭	特定しない	6,000円	100人	本講習はディベートを行いますので、事前に茂木秀昭『ザ・ディベート』を読んできてください。

## ■ 選択必修領域 【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

No.	講習の名称 取り扱う事項	講習の概要	担当講師 (平成30年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
1	【選択必修】 授業における「活用」－思考力・判断力・表現力の育成とアクティブ・ラーニング－  育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	子どもに必要な資質・能力を総合的に育むためには、各教科等における習得・活用・探究の学習過程を見渡しながら、「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」の三つの視点に立って、授業を改善していくことが求められています。これらについては新学習指導要領において、アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業改善が有効とされています。本講習ではアクティブ・ラーニングの視点に基づく授業の改善についての具体例を扱います。そして、受講者自身がアクティブ・ラーニングの視点をういて授業を構成できるようにしていきます。	秋田 真(教育学部 准教授) 澤村 教淳(教育学部 准教授)	6時間	2019年7月28日(日)	全教諭	特定しない	6,000円	30人	
2	【選択必修】 教育の情報化 はじめの一歩  教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))等)	下記の内容について入門的な解説と初心者向けの実習を合わせて行います。 1. 教育の情報化 (ア)電子教材の作成と活用I(パワーポイントとHTML) (イ)電子教材の作成と活用II(スマホ動画の教材化) 2. 情報教育の現代化 (ア)教育の情報化の現状について (イ)情報モラルについて (ウ)エクセルを使ったプログラミングとシミュレーション (エ)プログラミング教材の体験実習	室谷 心(総合経営学部 教授)	6時間	2019年7月28日(日)	特定しない	特定しない	6,000円	20人	
3	【選択必修】 学校・家庭・地域の連携及び協働  学校、家庭並びに地域の連携及び協働	学校が抱える課題が複雑化・困難化しているなかで、学校、家庭及び地域の連携・協働の重要性はますます高まっています。講義ではこういった背景の下に進められている学校・家庭・地域の連携・協働の仕組みづくりに関する政策や実践への理解を深めます。コミュニティ・スクールや先進的な実践を行っている地域の事例を取り上げます。さらに、ワークショップやグループディスカッションなどの活動を通して、地域に目を向けて多様な人々と関わることの教育的意義を学んでいきます。	大蔵 真由美(教育学部 専任講師)	6時間	2019年7月28日(日)	全教諭	特定しない	6,000円	30人	フィールドワークを行いますので、歩きやすい衣服・靴、帽子をご用意ください。
4	【選択必修】 学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎  教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	困難を抱えた児童生徒への支援のために、教育相談の理論と方法についての知識(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)を身につけ、より実践的な対応のために児童生徒理解、保護者対応、生徒指導上の諸課題についての対応など、より具体的なスキルを身に付けることを目的にします。併せて、よりよい教育相談の対応力が、学級経営や授業展開の力を高めることを理解していきます。	岸田 幸弘(教育学部 教授)	6時間	2019年7月28日(日)	全教諭	特定しない	6,000円	30人	
5	【選択必修】 「気がかりな子」の理解と対応  教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	近年、発達特性のある子への理解や支援が求められています。日頃接する中で、気がかりな子、理解が難しい子はいませんか？この講座ではまず発達障害の基本的症状について学び、自閉スペクトラム症やADHDの特性について知って頂きたいと思います。そして気になる行動、症状について問題として捉えるべきか、性格や個性として捉えるべきか、どう対処したらよいか考えます。また親御さんどう話したらよいか、病院で診らもらった方がよいか、具体的な事例を通して学んでいきたいと思ひます。グループワークも取り入れ、具体的なケースについて理解を深める予定です。長らく小児科等で子どもの心の治療に関わってきた経験から、どのようなポイントが心配されて、病院ではどのような対応をしていくかについてもお話ししたいと思ひます。結果、全ての子どもへの理解と対応に役立つ内容にしていきたいと思ひています。	中山 文子(松商短期大学部 専任講師)	6時間	2019年7月28日(日)	教諭	幼稚園教諭 認定こども園	6,000円	30人	

## ■ 選択必修領域 【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

No.	講習の名称 取り扱う事項	講習の概要	担当講師 (平成30年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
6	【選択必修】 外国語科における連携とその指導  英語教育	学習指導要領を理解することにより、小学校・中学校・高等学校の外国語科での連携がどのように考えられているかを知り、また、どのように英語の授業を実施していくかを考えていきます。その連携のあり方を理解し、小学校ではどのように外国語活動・外国語を実施していくのか、中学校・高等学校ではどのように英語で英語を教えるのかについて考えを深めていく講習です。	和田 順一(教育学部 准教授)	6時間	2019年8月7日(水)	全教諭	特定しない	6,000円	30人	電子辞書がある方はお持ちください。
7	【選択必修】 道徳教育  道徳教育	道徳教育が、大きな変革期を迎えています。小学校では、今までの「道徳の時間」が道徳科としてスタートし、検定教科書が導入されました。中学校でも、今までの道徳教育の現状をとらえ、課題をはっきりさせた上で、「道徳教育の最新事情」と、「子どもたちが、心待ちにする道徳の授業づくり」の演習や、シェアリングを通して講義を行います。対象は、小・中学校の先生方の講習です。	征矢野達彦(教育学部 准教授) 田野口 弘(基礎教育センター 専門員)	6時間	2019年8月7日(水)	全教諭	小・中学校教諭	6,000円	30人	
8	【選択必修】 新学習指導要領への対応とその留意点  学習指導要領の改訂の動向等 法令改正及び国の審議会の状況等	新学習指導要領のねらいは、「社会に開かれた教育課程」の実現と言われています。新学習指導要領に基づいた教育課程を実施するに当たって、カリキュラム・マネジメントの方法と導入を中心に、本講習の前半では、中央教育審議会答申や教育振興基本計画等による教育政策動向、「社会に開かれた教育課程」の考えと「開かれた学校づくり」の考えとの比較、カリキュラム・マネジメントに関する事例やその留意点などを扱います。 また、進路指導およびキャリア教育に関する内容を含みます。キャリア教育の推進は、中央教育審議会答申でも提言されており、教育振興基本計画等にも位置付けています。新学習指導要領の趣旨を踏まえたキャリア教育の展開について、受講者相互の意見交換により考えるようにします。	山崎 保寿(人間健康学部 教授・教職センター長)	6時間	2019年8月7日(水)	全教諭	特定しない	6,000円	50人	・自分の校種の学習指導要領を持参してください。 ・自校で実施しているキャリア教育の概要資料を持参してください。幼稚園教諭の方は、「園児たちにどのようにして人間関係を育んでいるか」、それがわかるような資料を持参してください。
9	【選択必修】 幼少期のこころの発達とその支援  教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	幼稚園から小学校までの子どもたちの心の成長について、発達心理学を軸に学び直すことで理解をいっそう深めます。そのうえで、日ごろ学校で見受けられる対応に苦慮する場面を取り上げ、具体的な対応の仕方について、応用行動分析の手法を手掛かりに説明していきます。いじめや不登校などの具体的な事例について、受講者間で共有し検討することを通して、子どもとの関わり合いの質をより高めることが期待できます。	羽田行男(教育学部 教授)	6時間	2019年8月7日(水)	教諭	認定こども園・幼・小	6,000円	20人	
10	【選択必修】 保護者対応のあり方と学校における危機管理について  様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	様々な問題に対する組織的対応の必要性について、保護者から寄せられる意見・要望等に対してどのように対応したらよいか理解を深め、保護者対応力の向上につなげます。また、子どもたちが、日々の学習活動に安心して安全に取り組めるよう学校における危機管理上の課題について理解を深めます。	小松 茂美(人間健康学部 教授) 石井 良治(教職センター専門員)	6時間	2019年8月7日(水)	全教諭	特定しない	6,000円	30人	

## ■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (2019年3月31日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
1	【選択】 投影法を活かした児童理解	本講座は、児童・生徒の内面を深く感じ取り、正しく理解するための手がかり(方法)について学習することを目的にしています。具体的には、言葉や描画に拠る投影法を、いかにしたら教育方法として授業や諸活動に活かせるかについて、理論と実践の両側面から学びます。習得した内容については、個々の受講者が、それぞれの教育環境に合わせて柔軟に活用させることができます。	羽田行男(教育学部 教授)	6時間	2019年6月1日(土)	教諭 養護教諭	小・特支 (保健・家庭科・ 総合・福祉他)	6,000円	20人	演習も行うので身軽な服装が適しています。
2	【選択】園児・児童・生徒の理解 に役立つ性格心理学	人の性格はどのように形成されるのか、これから変わるのか、考えたり悩んだりされた経験があるのではないのでしょうか。先生方には日々の現場において、子ども達の個々の特徴を理解し、効果的な教育・指導・支援をしようと奮闘しているらっしゃることと思います。今までに自分自身の性格や周囲の人間理解について悩まれた事もあるかもしれません。本講座では主に「性格に影響する遺伝や環境の要因(親の養育態度・兄弟構成など)」や「性格を構成する要素」についてお話しします。講座中盤では性格テストを数種類紹介し、実際に性格テスト(TEG)を体験して性格尺度を測ったりそのバランスで性格を分析してみます。子ども達と関わる際だけでなく、日ごろの自己理解・人間関係理解にも役立つと思います。人の性格の成り立ちに興味のある方、深めたい方にお勧めできます。	中山 文子(松商短期大学部 専任講師)	6時間	2019年6月2日(日)	教諭 養護教諭	教科は指定せず	6,000円	20人	
3	【選択】子どもがゲーム理解をする ボールゲームの授業をつくる	現在日本の学校体育で行われているボールゲームは、「めあて学習」や「戦術学習」の学習スタイルで指導されていると思われます。しかし、学習者である子どもの側から観察しますと、どちらも教師側の理論で構成され、学習者のゲーム理解が促進されているのかを疑問に感じます。 そこで、学習者が主体的にゲームに参加をする考え方を共有して、現場の先生方に、新たな見方・考え方を提示し、ボールゲームの授業をデザインするうえで参考になる講習会にしたいと考えています。 午前に先生方の指導されたボールゲームについて、どんなスタイルで授業デザインしているのかを共有するとともに、理論研修を行います。午後にベースボール型とネット型の授業を取り上げ、学習者がゲーム理解をしていく、発問・教具・場について実技研修していく予定です。	濱田 敦志(教育学部 准教授)	6時間	2019年6月9日(日)	教諭	幼・小・中・高・特支 (保健体育)	6,000円	30人	実技をしますので、運動できる服装、体育館シューズ、飲み物を持参してください。
4	【選択】体験から気づき、行動へ ～環境教育・総合学習の計画と 評価～	総合的な学習の時間を中心に、地域の課題や自然、文化等について、体験から学ぶ授業は益々増加しています。学習者にとっては、なぜそれを学ぶのか、という動機づけが非常に重要であり、安心できる学習環境の整備が必要です。学習テーマは興味がさらに発展することで、単元を超えた学習に広がっても、臆せず主体的に子どもたちが取り組むような姿も珍しくありません。この講習では授業計画を作成する前に、どのように授業テーマ(地域の課題)につながる情報を収集し、実際の体験を手配し、いかにその体験を学びに変えるか、という指導法と授業経営について扱います。同時に、ファシリテーション技術を使った学びの演習、また、その学びの評価方法を取り扱います。これらはアクティブラーニング、ESD(持続可能な開発のための教育)、体験学習、などと表現されますが、これらの概念やSDGs(持続可能な開発目標)との整理も併せて行います。	中澤 朋代(総合経営学部 准教授)	6時間	2019年6月15日(土)	教諭 養護教諭	小・中・特支 (教科問わず)	6,000円	20人	野外での実習があります。動きやすい服装、スニーカー、帽子、手袋などを用意してきてください。

■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (平成30年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
5	【選択】南極の魅力とその教材化	地球最後の秘境と言われる南極。昭和基地では、想像を超える美しい自然や、過酷な中でも力強く生き抜く動物たち、互いに助け合って研究を続ける隊員たちの姿に触れることができます。どれも次代を担う子どもたちにとっては貴重な教材です。本講座では、南極観測の現状を、「南極へ向かう『砕氷船しらせ』での海洋観測」、「昭和基地での最先端の極域観測」等の迫力ある動画映像や、「南極の氷や岩石」、「ペンギンの足跡」等の具体資料等に触れることを通して感得し、今日の環境問題や道徳的諸価値等の観点から教材化することを試みます。	澤柿 教淳(教育学部 准教授)	6時間	2019年6月16日(日)	教諭	全校種 (理科、環境教育)	6,000円	40人	
6	【選択】健康と環境に配慮した「食事」へのアプローチ	消費者庁は、平成30年8月に健康と環境に配慮した「適量」のすすめを公表しました。食品をどう選ぶかは、消費生活での重要な課題です。健康課題となる「肥満とやせ」及び多くの食品を輸入に頼りながらの「食品ロス」を防ぐために示されました。摂食行動の形成には、社会経済的要因も関わっており、職業や学歴等の社会階層が低いほどに健康に不利な生活習慣をもち、不健康になる傾向があるという。また、間違いや誤った理解を起こしかねないような多量の情報が心身の成長過程にある子どもの身近にもあります。本講座では、1. 日本と世界の食料需要 2. 食品ロスの現状(データとDVD:もったいない) 3. 話題のダイエットの魅力と地球環境 4. 何をどのくらい食べているか(ffaq:参加者の栄養診断)の観点から、子どもの心身の成長と健康づくりのための「食育の実践」に向けた情報提供と活用について検討していきます。	平田 治美(人間健康学部 准教授)	6時間	2019年6月29日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	20人	
7	【選択】子どもと共に創る音楽科「表現」の授業	新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。音楽科においてはこれまでの成果を踏まえさらなる充実のために教科の特性として「音楽的な見方・考え方」を働かせることが鍵となでしょう。しかし実際の教育現場では様々な課題があることも容易に想定できます。本講義ではまず音楽科の目標及び内容の3つの柱から学校教育における音楽科の意義とこれからの授業の在り方について確認し、演習では小学校の器楽教材、中学校の歌唱教材を取り上げ具体的な指導方法を学びます。限られた授業時間の中で、子どもの実態に合わせた教師の働きかけによって意欲を引き出し、結果として豊かな表現力が身につくような魅力的な授業づくりの心得と手法を学び、これからの授業実践の参考にしていただけたらと考えています。	安藤江里(教育学部 専任講師) 高山 雪(教職支援センター 専門員)	6時間	2019年6月30日(日)	教諭	小・中・高・特支 (音楽)	6,000円	30人	リコーダーまたは鍵盤ハーモニカをお持ちの方は持参してください。

■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (平成29年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
8	【選択】体質に関わる遺伝子型解析実験 ※2018年度に本講習の認定を受けた方は、今年度受講しても認定されません。	本講座では、ヒトの体質に関わる遺伝子型を解析します。同じエネルギー量を摂食していても、一方は太りやすく、もう一方は太りにくいなどの差異があります。これは、食物アレルギーなどに対する応答と同様に体質の違いに起因するものです。体質の違いは遺伝子型の違いによってもたらされるため、遺伝子型に基づいた各自の体質特性を知った上で食に対する指導を行う方が効果的です。そのため、教員自らが遺伝子型解析を体験し理解しておく必要があります。同じことは、栄養教諭に限らず生物等の理科や保健に関する指導の充実を図ろうとする教員にも必要であると思われるので、それらの科目の教員も受け入れます。講習では、唾液からDNAを抽出し、ポリメラーゼ連鎖反応(PCR法)により体質に関わる遺伝子型を解析する実験(①太りやすさ②アルコール代謝③筋肉特性のいずれかを分析)に加えて、科学的背景や理論について講義方式をまじえた構成で行います。申込時の事前アンケートに解析したい遺伝子型を①～③(①太りやすさ②アルコール代謝③筋肉特性)の中から選んで知らせてください。	山田 一哉(健康科学研究科 教授) 高木 勝広(健康科学研究科 教授) 浅野 公介(人間健康学部 助手) 塚田 晃子(人間健康学部 助手)	6時間	2019年7月7日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	20人	申込時の事前アンケートに解析したい遺伝子型を①～③(①太りやすさ②アルコール代謝③筋肉特性)の中から選んで知らせてください。 実験開始前30分間は、ガムをかむことと歯磨きをご遠慮ください。
9	【選択】救命救急法(CPRとAED) ※2018年度に本講習の認定を受けた方は、今年度受講しても認定されません。	1 オリエンテーション 授業概要説明、授業計画の進め方説明 2 救命処置の目的と必要性 3 救命処置に必要な人体の構造と仕組み 4 心肺蘇生法(CPR)、救命に必要な応急手当(成人に対する方法) ①胸骨圧迫 ②気道確保と人工呼吸 ③AEDの使用法、気道異物の除去、止血 5 救命処置のスキルテスト(実技試験) この講習科目は、American Heart Association(米国心臓協会)のBasic Life Support(救命措置)プログラムの救命処置を基準とした内容により構成されています。具体的には、傷病者の観察、救命蘇生法、止血、気道閉塞などの救命処置の基本から実践までを学習します。対象は学校生活に関わる教員全ての方々です。	山本 薫(人間健康学部 准教授)	6時間	2019年8月3日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	30人	実技を行いますので、動きやすい服装(スカートは遠慮、口紅等は極力控えてください)で参加してください。
10	【選択】生徒を深く理解するための臨床心理学	学校教育においては、教師と生徒の関係性が非常に重要であると考えられます。本講座では、生徒指導の場面において、深く彼らを理解し、対応していくために役立つであろう臨床心理学的なものを見方や考え方について学びます。これは、どのようにやるのか、つまり「方法論」の問題ではなく、対応する側のあり方、いわば「姿勢・態度」の問題です。そのため、講師から生徒理解の方法やテクニック、いわゆる「How to」を提供するのではなく、参加する先生方が自分自身のこととして考えていただくことが本講座の目的となります。また、こうした姿勢・態度は、保護者等への対応にも生かすことができます。 なお、実際の指導場面等で直面した事例について、参加者全員で共有し検討したいと考えているため、積極的にご参加ください。また、生徒指導や保護者対応等で困った事例を可能な方は持参、もしくは事前に講師の連絡先までEメールで送付ください。	齊藤 茂(健康科学研究科 准教授)	6時間	2019年8月5日(月)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	20人	生徒指導等で困った事例を持参、もしくは、可能であれば事前に講師の連絡先までEメールで送付ください(事前に送付いただいたものを優先的に扱います)。なお、生徒さんのプライバシーには十分ご配慮ください。 講師の連絡先: shigeru.saito@t.matsu.ac.jp

■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (平成29年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
11	【選択】論理的文章の読み方・書き方	2022年度から高校国語では「現代の国語」と「言語文化」が必修として新設され、義務教育段階でも論理的文章を読む力・書く力が重視される時代になりました。文章には論理的文章と文学的文章の2種類がありますが、それぞれの特徴が意識されずに授業が行われることがあります。本講座ではまず、2種類の文章の違いを明らかにした上で、論理的文章とは何かを具体的に提示します。さらに、児童・生徒の多くが苦手としている「論理的文章の書き方」の指導法を、指導計画・指導例、教材、評価及び添削の方法とともにお示しします。講義は講師による模擬授業や先生方の演習、グループワークを行い、体験を通して学んでいただくことを重視しています。学校で使える資料と体験をお持ち帰りいただければ幸いです。	國府田 祐子(教育学部 准教授)	6時間	2019年8月8日(木)	教諭	小・中 (教科・領域を問わない)	6,000円	40人	赤ペンもしくは赤ボールペン、ミニ定規、ホチキス(ステープラー)をお持ちください。
12	【選択】主体的な学びを育む小学校社会科授業づくり	授業では、「どのように学ぶか」に着目しながら学びの質を高めていくことが求められています。そのために、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善の取組が重要です。本講習では、小学校社会科授業にて扱う地域の施設を用いて、子供が自ら課題を見つけ、解決していくための学習プロセスを構築できるよう指導していきます。そして、受講者が「主体的・対話的で深い学び」を授業において実現できるようにすることを目指します。	秋田 真(教育学部 准教授) 高山 雪(教職支援センター 支援員)	6時間	2019年8月9日(金)	教諭	小学校教諭向け	6,000円	20人	松本城付近で昼食時間を取ります。裁判所法廷内の撮影を希望する方はデジタルカメラが必要です。
13	【選択】発達上の困難・課題を有する非行少年の理解と支援 ※2018年度に本講習の認定を受けた方は、今年度受講しても認定されません。	講義担当者はこれまで、非行周辺領域(児童自立支援施設・少年鑑別所・少年院・保護観察所・保護司・更生保護施設・自立準備ホーム・自立援助ホーム等)において、発達障害等の発達上の課題を有する非行少年に関する職員への面接法調査を実施してきました。また少年院入院経験のある発達上の課題を有する本人・当事者への面接によるニーズ調査を実施しています。本講義を通して、環境要因など多様な負の要因が絡み合った結果として非行行動に至った少年の困難・ニーズの理解と支援の課題を考察します。具体的には、非行周辺領域の施設・機関等における発達障害等の発達上の課題を有する少年の実態と支援の状況を扱います。同時に、少年本人・当事者のニーズや想いをもとに、学校教育における教育・発達の支援や、法務少年支援センター・少年院等関係機関との連携のあり方を検討します。	内藤 千尋(教育学部 専任講師)	6時間	2019年8月10日(土)	教諭 養護教諭	小・中・高・特支 (教科問わず)	6,000円	35人	
14	【選択】結婚と結婚式、その変遷と現状 ※2018年度に本講習の認定を受けた方は、今年度受講しても認定されません。	結婚と結婚式を通して、文化論、社会学、ビジネス論を考えしていきます。家庭は社会の最小単位であり、その家庭は結婚することから始まります。この結婚は、もしくは結婚後の家庭生活は、時代と共に変化しております。このようなことをある程度把握しておくことにより、特に社会科の授業や、生徒指導に役立つものと思われれます。歴史も含めてまずは自分の国を知ること、自分の住む地域を知ること、そして家族と自分を知ることが、国際社会に出て行っても恥ずかしくない人材に成りうることであり、大いに学校教育に役立つものと思われれます。また、結婚式をビジネス、仕事という面から捉えることにより、商学、経済学、経営学、そしてキャリア教育などにも参考になると思われれます。	小澤 岳志(松商短期大学 専任講師)	6時間	2019年8月31日(土)	教諭	幼・小・中・高 (社会、地理歴史、公民、総合、職業、宗教)	6,000円	30人	

■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (平成29年4月1日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
15	【選択】小学校教員実力養成講座(算数科指導と学級経営)	「何のために算数を学ぶのか」から再考し、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、新学習指導要領における算数科の内容のポイントを解説します。数学的に考える力を育て、算数・数学の学習過程のイメージ図をもとに事例を通して解説します。また、算数科の指導を通し学級経営に生かす道筋も示します。また、近年の子供の問題点を明らかにし、教科指導の中で子供達には、他者・親・教師の責任にせず、その瞬間が楽しければいいという刹那的な考えを捨て、苦しいことから逃げない力を育てたいと考えています。そこで、学習過程を重視し、その中でも自己理解を高めようとする態度、他者と協調しながら問題解決する態度などを大切にしたい、授業の在り方について事例を通して考えていきます。その後、学習指導案作りや模擬授業作りを通して、子供一人一人がたのしく学べる学習の在り方について演習を行います。小中一貫の系統についても触れていくことを考えています。	増田 吉史(教育学部 教授) 佐藤 茂太郎(教育学部 専任講師)	6時間	2019年9月7日(土)	教諭	小 (算数)	6,000円	30人	
16	【選択】子どもの食育から学ぶ基礎編・応用編	本講習は調理実習を行います。子どもの食育の基礎編・応用編を学びます。子どもの心と発育・発達のためには、幼児期における食習慣の確立や幼児を取り巻く環境の整備が大切です。「食育基本法」が制定されたことを受け、早い時期(幼児期)から、よりよい食習慣を確立するために食行動の発達に沿った特徴や栄養素の必要性を学びます。実際に一食分の弁当づくりから栄養バランスのよいかたちを学ぶことで教育現場において園児・児童・生徒や保護者へのアプローチができる食育指導展開に繋がります。調理実習においては年齢に応じた弁当箱(内容量)に用意された食材を選び、調理方法を工夫して彩りのよい、食欲がそそるお弁当を完成させます。試食をした後にコンセプトについてグループごと発表をします。また、食育媒体「いくつしているきせつ の やさい」を教材とし年齢に応じた食育展開に繋がった内容についてグループごとに発表をします。	水野 尚子(人間健康学部 助手)	6時間	2019年9月14日(土)	教諭 栄養教諭	認定こども園・幼・小	6,000円	20人	調理実習を行いますので、胸まで隠れるエプロン、三角巾(頭を覆うもの)、ハンドタオルをご準備ください(材料はこちらで用意します)。また、弁当づくりから弁当箱の大きさや栄養バランス(栄養量)を学ぶため、子ども用の弁当箱をご準備ください。完成したお弁当は評価した後に試食いたしますので、昼食はそれを考慮し、必要に応じてお持ちください。
17	【選択】子どもたちの「問題」を理解し対処するための「見立て」方	生徒指導や部活動指導等の現場において、教師が出会う不登校、非行、怪我の頻発等の「問題」への対処は、教師や指導者が子どもたちをどう理解するか、そして、その問題をどう見立てるかによって変わってきます。本講座では、こうした問題を深く理解し見立てるための、子どもたちとの向き合い方、教師や指導者としての姿勢、及びそれらに生きるであろう臨床心理学的な知識について学びます。本講義は知識や方法論、またはテクニックといった、所謂「How to」の一方的な提供ではなく、先生方ご自身の問題として考えていただくことが目的となっているため、こうした講義の趣旨を十分に理解したうえでご参加いただくことを望みます。なお、実際の指導場面等で直面した事例について、参加者全員で共有し検討したいと考えています。生徒指導や部活動指導等で困った事例を持参、もしくは、可能であれば事前に講師の連絡先までEメールで送付ください。	齊藤 茂(健康科学研究科 准教授)	6時間	2019年10月6日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	20人	生徒指導等で困った事例を持参、もしくは、可能であれば事前に講師の連絡先までEメールで送付ください(事前に送付いただいたものを優先的に扱います)。なお、生徒さんのプライバシーには十分ご配慮ください。 講師の連絡先: shigeru.saito@t.matsu.ac.jp
18	【選択】良好な人間関係を築くために ～コミュニケーションのズレに気づく～	教育現場で関わる人(生徒・同僚・上司・事務職員・保護者・地域人)との人間関係構築のための効果的なコミュニケーション・スキルについて演習形式で学びます。より良い人間関係を築くために「自分に気づく・他者に気づく・グループに起っていることに気づく」ことをねらい、必要なスキルを日常化していくことを目的としたラボラトリー方式の学習です。具体的には、相手に伝わる話し方・聞きかた、課題解決などのワークを通じて「協力を学ぶ・リーダーシップを学ぶ」など、授業でも使えるワークを実施します。	犬飼 己紀子(人間健康学部 教授)	6時間	2019年10月27日(日)	教諭 養護教諭	幼・小・特支 (教科は問わない)	6,000円	30人	目隠しに使えるバンダナ(等)、下敷きに使えるバインダーをお持ちください。また、動きやすい身支度でご参加ください。



■ 選択領域

【受講者募集期間】 2019年4月15日(月)～2019年5月10日(金)

受講者が任意に選択して受講する領域

No.	講習の名称	講習の内容	担当講師 (2019年3月31日現在)	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	※受講者への 事前連絡等
19	【選択】ベースボール型の授業づくり	学習指導要領の球技領域のベースボール型はソフトボールが取りあげられていますが、ソフトボールはそのスキルの難しさに起因する個人差(性差)、ルールの複雑さ、用具や場所の問題等があり、現場では指導しにくい種目の一つとなっています。そのため、「ティーボール」や「バットレス・ボール」など、ルールや用具を変更した子供の能力に応じた実践は数多く見受けられます。しかし、「走・投・捕・打」といったソフトボールの技術的特性に正面から取り組んだ実践は決して多くありません。また、体力運動能力調査の結果でも現在多くの項目が横ばいまたは向上傾向となっているのに対し、「ボール投げ」は相変わらず低下傾向に歯止めが掛かっていないのが現状です。そこで本講習は講義・討論および実技で構成し、ソフトボールの基礎的な技術獲得の指導方法を考えながら、授業で活用する攻防の在り方を検討していきます。対象は体育授業を担当する教員ですが、部活動等でソフトボール指導に関わる方も受け入れ可能です。	岩間 英明(人間健康学部 教授)	6時間	2019年11月3日(日)	教諭	小・中・高 (保健体育)	6,000円	30人	運動のできる準備(服装・体調管理など)をお願いします。用具がある場合は、持参してください。実技中は服装を整えていただき、金属製のスパイクの使用はご遠慮ください。 特別な場合(受講中のケガ等)を除き、全ての実技・講義へ参加することを原則とします。 雨天の場合は、体育館シューズを持参してください。なお、雨天の場合は内容が変更になる可能性があります。
20	【選択】授業で使える物理実験講習会	高等学校「物理」で生徒実験や教員の演示実験で扱う基本的な実験について、実験を成功させるためのポイントや授業で生徒に印象付けるための話の持って行き方のコツなどを、ワークショップ形式で実際にグループ実験を行いながら学びます。電気回路の基本などの、中学校の内容も含んだ基礎的なものであるが、高校教諭を主対象とした話題を中心に扱います。 5テーマ程度の実験装置を用意し、実際の高校での授業と同様に1時間一つ実験を行う形で、順番に5テーマ程度の実験の実習を行います。	室谷 心(総合経営学部 教授) 増子 寛(元麻布高校教諭教務主任) 奥原 靖彦(長野県総合教育センター 教科教育部専門主事) 湯口 秀敏(法政大学理工学部 非常勤講師)	6時間	2019年11月10日(日)	教諭	小・中・高・特支 (数学、理科、総合)	6,000円	20人	
21	【選択】ディベートとゲームで学ぶ生徒指導:進化心理学的アプローチ	生徒指導は教科指導と並ぶ学校教育の両輪ですが、教科指導とは違ってそれを支える学問的基盤が脆弱で、免許取得のための必要単位数も2単位しかありません。生徒指導は心理学が学問的基盤の一つとされていますが、その成果は断片的で、結局は教育実践から得られた経験知に支えられたものとなっています。また、生徒指導は生徒が問題を起こさないような予防的なものになり、その結果、生徒の行動を制限するものになってしまいがちです。この講座では進化心理学に基づいて、新しい視点から生徒指導の可能性を探ります。また、ゲーム理論を通して人間関係について実習したり、ディベートによって深く議論したりすることで「生徒指導の意義」についても考えたいと思います。ディベートについてあらかじめ知っておいていただくために、事前に『ザ・ディベート』を読んできてください。この本を読んでくることで、ディベート体験がもっとも有益なものとなります。また、この講習では、進化心理学的観点から、結婚と子育てを幸せの重要な要素であると考えられる立場を紹介いたします。その点にご留意の上、受講をしてください。	守 一雄(教育学部 教授)	6時間	2019年11月23日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教諭	6,000円	36人	事前に茂木秀昭『ザ・ディベート』を読んでください。この講習では、進化心理学的観点から、結婚と子育てを幸せの重要な要素であると考えられる立場を紹介いたします。その点にご留意の上、受講をしてください。

※講習の日程、担当講師は、諸般の事情により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。